



# 日本SPF豚協会だより

2018. 10  
No.73

**特 集**

日本SPF豚協会、これまでの50年、これからの50年②

## 防疫の共通認識向上のために

日本養豚学会会長 東京農業大学大学院教授 **祐森誠司**



まずは来年度に創立50周年を迎えることとなったことに対し、お祝いを申し上げます。農水省家畜衛試の研究班から現在の組織へと多数の賛同者の協力の下、貴協会が発展し、今日を迎えられましたことは、ひとえに関係諸氏の弛まぬ努力のなすものと敬服いたします。小生が養豚学会の事務局で幹事を務めていました平成14年当時、貴協会の赤池会長(当時)に学会常務理事として学会運営に参画いただいていた。未熟の小生に赤池会長から、SPF豚の認定農場の認定基準改正の会議に顔を出すようにお声がけがあり、数回の会議に出席させていただき、貴協会や認定農場の制度、さらに会議終了後には新橋駅近隣の社会勉強もさせていただきました。当時のご指導への返礼をと考え、パソコンを前に首をひねっております。

思い起こせば、学生時代に実習等で最も多く接してきたのが豚であり、その際に経験した養豚施設は開放系で管理され、病気伝播に配慮するのではなく、臭気や鳴き声に関する苦情対策として人家から離れた区域に位置しました。もちろん、開放系の飼育施設で頑張っておられる養豚農家は今日も数多くあります。一方で、経営者の予防衛生に対する意識が高まり、貴協会の認定農場でなくても、入退場時にシャワーを浴び、着衣は準備されたものに替えることが義務付けられた施設が増えてきています。たまたま、小生がこの様な施設を初めて経験したのは、認定農場の一つである(株)フリーデン都路農場でした。単純に出入りの時のシャワーと着替えだけでなく、他の養豚施設への立ち入りや豚や猫との接触が一定期間内にないことも学生のインターンシップ実習を受け入れていただくための見学条件でした。これらは豚への疾病伝播の原因とし

て人を介するものが大きいことが理由であり、施設区域の周囲は柵で囲まれ、出入りする車輛は消毒槽や洗浄施設を通過することが徹底されています。口蹄疫やPEDのような大規模な伝染性疾患の発生により、このような取り組みは生産の基幹となる種豚生産農場(GGP・GP生産農場)で特に強化されており、関連施設に配属される種豚や肥育豚の疾病発生による事故予防が取り込まれるようになりました。しかし、養豚場が集中する地域ではひとたび伝染性の疾患が発生すると次々と広まっていくのが現実です。口蹄疫の発生で致命的なダメージを被った宮崎県の養豚農家では、地域をあげて徹底した予防衛生に取り組み、経営を再建されてきましたが、そのなかでもPEDの伝播により多数の子豚が死んでいったことはまだ記憶に新しいところ。各農家が予防衛生の意識を持って養豚経営に臨んでも、その意識レベルに差が生じることで疾病の伝播が生じるのかもしれない。そして、この意識レベルの差は出入り業者にも自ずと伝わり、自覚なく疾病を媒介しているのかもしれない。

現在、貴協会の認定を受ける農場数は国内の5%、そしてそこで飼育される母豚の数は国内飼育頭数の9.4%(平成30年2月現在)に相当するとのことですが、この数値はまだまだ認識、勉強不足の養豚関係者が数多くいることを示していると考えます。貴協会には会員の増数に加えて、遵守すべき最低限の防疫認識をより多くの関係者に広めていただきたいと思います。その上で、養豚の実践的な問題解決を掲げる日本養豚学会との連携をさらに深めていただければ幸甚です。今後益々のご発展を祈念致します。

# H30年度SPF豚セミナー

## 11月8日(木)

### 東京・KKRホテルにて開催

養豚の最先端技術はじめ、  
薬剤耐性対策やアフリカ豚コレラ発生状況も解説  
千葉県内認定農場が協力中の  
「こども食堂」についての講演も

恒例となっております協会主催「SPF豚セミナー」。今年も11月8日(木)午後1時より、東京都千代田区のKKRホテル東京にて開催いたします。

会員の皆さんはもちろんどなたでもご参加いただけます。次ページの開催要項をご参照ください。

8月以来続く中国のアフリカ豚コレラ発生は、わが国にとって侵入リスクが高まる大変深刻な問題です。そこで農林水産省消費・安全局動物衛生課に情報提供をお願いしました。また、11月は薬剤耐性(AMR)対策強化月間です。同様に同省畜水産安全管理課に解説をお願いいたしました。

講演は2題です。まず、「スマート畜産への取り組み」と題し、養豚現場におけるIoTなどを活用した機材情報について、実績豊富な(株)中嶋製作所(長野市)技術部、遠藤祐治氏にお願いすることとなりました。最新技術をご紹介します。

また、昨今問題となっているこどもの食の貧困問題と、対応策の一つとして注目されているこども食堂について、胡内敦司氏に講演いただきます。胡内氏は厚生労働省から松戸市に出向中で、子供の貧困問題の第一人者です。協会のセミナーの講演テーマとしては意外に思われるかもしれませんが、協会だより等でもご紹介の通り、2年前より千葉県内の認定農場に県内のこども食堂に豚肉提供のご協力をいただき、主催者側に変感謝されております。食材提供の意義や課題等についても解説いただく予定です。

ぜひ多くの会員の皆さんにその実態を知っていただきたいと思っております。

生産成績優秀CM農場の表彰式も行います。回数を重ね、今回が12回目となります。先日選考委員会が開催され、「総合生産成績最優秀農場」、「商品化頭数最優秀農場」がそれぞれ決定いたしました。当日発表いたします。また、認定CM農場の生産成績年次報告も例年同様行います。

セミナー終了後の懇親会では、毎年好評の認定農場産SPFポークのしゃぶしゃぶ、骨付きハム、ソーセージ・ハムなどの加工品も多数ご用意いたします。貴重な情報交換や交流の場となりますので、ぜひご出席ください。

なお、参加費は会員と非会員で金額が異なりますのでお申し込みの際にはご注意ください。

多くの方のお越しをお待ちしております。



▲ 昨年のセミナーの様子

## 平成30年度SPF豚セミナー開催要項

開催日時 平成30年11月8日(木) 13:00～17:00

場 所 KKR HOTEL TOKYO(東京都千代田区大手町1-4-1) <地図参照>

### <プログラム>

開会のあいさつ	13:00～13:05
1) CM認定農場生産成績年次報告(2017)	13:05～13:20
藤田 世秀・日本SPF豚協会専務理事	
2) 生産成績優秀CM農場表彰式	13:25～13:55
(1) 選考結果報告・講評	
(2) 総合生産成績最優秀農場表彰	
(3) 商品化頭数最優秀農場表彰	
3) 薬剤耐性(AMR) 対策の現状について	14:00～14:20
講師候補：農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課	
4) アフリカ豚コレラ発生状況と対策強化について	14:20～14:40
講師候補：農林水産省消費・安全局動物衛生課	
休憩	14:40～15:00
5) 講演I「スマート畜産への取り組み」	15:00～15:40
講師：遠藤祐治氏(株)中嶋製作所技術部	
6) 講演II「子どもの貧困と子ども食堂について」	15:40～16:50
講師：胡内敦司氏(松戸市総合政策部兼子ども部審議監)	
閉会のあいさつ	
懇親会	17:30～19:30

### <参加費>

会 員：セミナー無料、懇親会費5,000円

会員以外：10,000円(懇親会費含む)

### <お申込み>

同封の申込書にて下記までFAXでお申し込みください。

※協会会員と会員以外の方では参加費が異なりますのでご注意ください。

### <申し込み期日>11月1日(木)まで

※定員(150名)になり次第締め切らせていただきます。

### <お申込み・お問い合わせ>

日本SPF豚協会

FAX. 03-5835-5376

TEL.03-5835-5375

j.spf.a@nifty.com

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-2

ニューセンチュリービル7F

KKR HOTEL TOKYO

<http://www.kkr-hotel-tokyo.gr.jp/000/access.html#station>

▼ 会場の「KKR HOTEL TOKYO」の地図



豚エンテロウイルス感染症は旧豚エンテロウイルスに属していた豚テシオウイルス (Porcine Teschovirus; 以下 PTV)、豚サペロウイルス (Porcine Sapelovirus; 以下 PSV)、豚エンテロウイルス (Porcine Enterovirus; 以下 PEV) による豚の感染症で、その原因ウイルスによって各々神経症状、下痢、呼吸器症状、流産等様々な病態を示すことを特徴とします。古くはテッセン病、タルファン病と呼ばれていた豚の脳脊髄炎もこの感染症に含まれます。神経疾患を引き起こすものは、我が国では豚エンテロウイルス性脳脊髄炎として届出伝染病に指定されています。

## 原因と病態

本病の病原体である PTV、PSV、PEV は、以前は一括して豚エンテロウイルス血清型 1 から 13 として分類されていたが、21 世紀に入って遺伝子解析が進むことで血清型 1 から 7 および、11 から 13 はピコナウイルス科テシオウイルス属の PTV (PTV-1 から PTV-11)、血清型 8 はピコナウイルス科サペロウイルス属の PSV、血清型 9 および 10 はそのまま豚エンテロウイルス (PEV-9、PEV-10) として再分類されました。引き起こされる病気の多くは、血清型の違いによって異なると考えられています。PTV-1～PTV-3、PTV-5 および PSV は脳脊髄炎の原因と考えられており、死流産に関与するのは PTV-1、PTV-3、PTV-6 および PSV と考えられています。PTV-1～PTV-3 および PSV は下痢や肺炎にも関与していると考えられています。PEV は豚の皮膚炎に関与していると報告されています。

PTV、PSV、PEV は、国内外に広く分布しており、健康な

豚の扁桃や糞便からも高率に分離されます。豚、イノシシ以外の動物には病気を引き起こしません。ウイルスは糞便と共に排泄され、糞便やその汚染器具、餌、資材などを介して同居豚へ経口・経鼻感染によって伝播します。飛沫感染はほとんどみられません。脳脊髄炎を呈する豚のみならず、腸炎や肺炎を呈する豚や無症状の豚からも多量のウイルスが分離されるため、発病期の豚の他、無症状の感染豚も感染源となり得ます。生後 2～3 週間は、子豚は母豚から受け継いだ移行抗体を持ち、多くの豚はこの移行抗体が完全に消失する前に初感染を受けるため感染しても発症することはありません。

脳脊髄炎は脳脊髄の運動神経を司る部分に主に認められます。そのため知覚は侵されずに運動だけ侵される特徴的な神経症状を示します。よく見られる神経症状は後肢麻痺で、犬座姿勢をとる場合が多いです。前肢は健全で、また食欲はあるため、前足だけで前進して餌を食べに行きます。神経症状は感染してから 2～3 週間後にみられます。多くの豚は移行抗体が消失する生後 3～4 週間後に感染するので、神経症状は生後 5～7 週間後にみられることがほとんどです (生後 35～50 日)。この神経症状の発症日齢も本病の特徴の一つです。脳脊髄炎は多くの場合、大脳半球にはみられず、主に小脳と延髄・脳幹部、脊髄にみられます。この特徴的な病変分布は他のウイルス性脳炎との鑑別の指標となります。罹患率や致死率は低いです。

その他の下痢や肺炎、心外膜炎は他の細菌感染などを伴った複合感染症としてみられることがほとんどです。流産についても現在では豚パルボウイルス等他の病原体を伴った複合感染症によって引き起こされると考えられています。

## ブタのウイルス病

連載 No.18

# 豚エンテロウイルス感染症



農研機構動物衛生研究部門

越境性感染症研究領域 海外病ユニット(海外病研究拠点)

上級研究員 山田 学



診断と予防

健康な豚からもウイルスは分離されるため、診断には神経症状を呈する豚の脳脊髄病変部位からのウイルス分離が必要となります。検査のための採材部位は小脳と脳幹部が好適です。

我が国にはワクチンはなく、特別な治療法也没有。時に耐化して自然治癒する豚もいます。予防には農場のバイオセキュリティの強化に努め、ウイルスを農場に入れないことが重要です。また農場の衛生状態を良くして、複合感染症を引き起こさない環境を維持することも重要です。

連載 種豚の能力を最大限発揮させるための飼養管理、栄養管理のポイント

# 繁殖成績を引き出すための 若雌、種豚管理



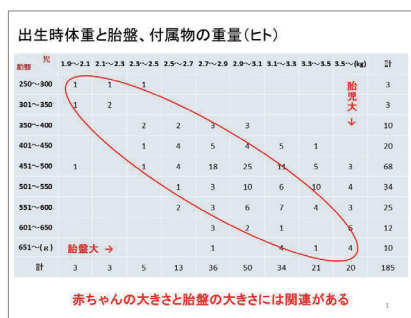
中部飼料(株)研究技術部養豚グループ 石川靖之

昨今の種豚の繁殖能力改善はめざましく、10年前では稀だった12頭超離乳も今では国内生産者の間で実現できています。10頭離乳が12頭離乳に改善されるということは、単純に2割余分に母豚が子豚を生産したこととなり、その分の栄養を授乳母豚は子豚に供給するため、母体の疲弊は以前よりも激しくなっています。そのことから、昨今の海外種豚の栄養マニュアルについては種付け直後から約1ヶ月間程度、妊娠期飼料を増量する傾向にあります。ではなぜこの時期の増量を推奨するのでしょうか？今回はこの点についてお話ししたいと思います。

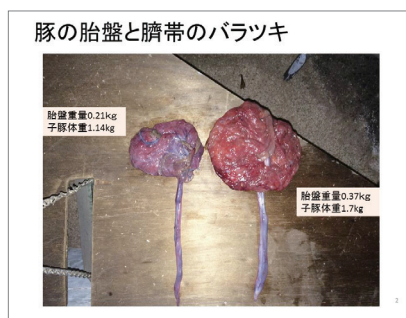
育種改良によって産子数は増加し、生産者さんからは「以前より生時体重が小さくなった」、「死産数が増えた」などのお話を聴くようになりました。そもそも生時体重はいつ決まるのでしょうか。図1は人間の出生時体重と胎盤、付属物の重量の関係を示したものです。赤ちゃんの出生時体重が重くなるほど、胎盤の重量も重くなる傾向がわかるといいます。豚についても同様で、1kg前後の子豚の胎盤と1.7kgの子豚の胎盤では大きさに違いがあります(図2)。つまり胎盤の大きさ＝生時体重につながると考えられ、妊娠中に子宮内で胎盤が十分に発達することが生時体重改善につながると考えられます。では胎盤はいつできるのでしょうか？母豚の

子宮内では種付け直後から受精卵が子宮内を浮遊しながら細胞分裂を繰り返し、種付け後2週間ぐらいで子宮内膜に着床し胎盤を広げ発達していきます(図3)。つまりこの時初めて胎盤が作られ、この段階における着床の程度と発達が重要になります(図4)。ではどうすべきか？それは子宮内膜組織を着床しやすいように整える必要があり、子宮内膜組織を分娩後に十分修復改善することです。これを実現する為に授乳中の栄養摂取改善と種付け直後の栄養摂取が重要になるのです。そのことから妊娠初期に飼料を増量するようになったと考えられます。

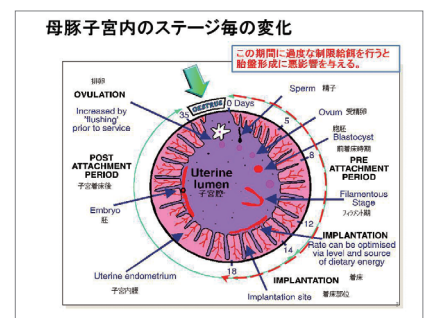
もうひとつは先ほどの図3で示しているように受精卵の状態で胎子が浮遊している間、胎子は大きく成長するわけではありませんので、母親から成長に関わる栄養を多く必要としません(図5)。つまり、この時期に給与される栄養は母豚のボディーコンディション回復に最大限回すことが出来ます。昨今の様に数多くの子豚を生産する母豚にとって、栄養回復する時期は限られる傾向にあり、最も回復に適しているのが胎仔からの栄養要求の低い種付け直後から一ヶ月間という事になり、妊娠初期の給与飼料の増量は、次産に向けた胎盤の発達を確実にすることと、ボディーコンディション回復を促すために必要なのです。



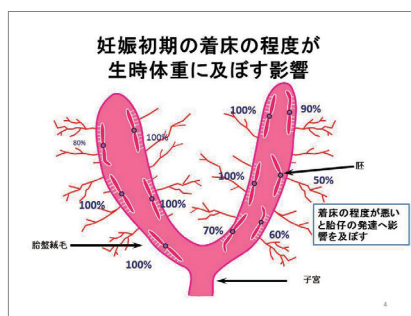
▲図1



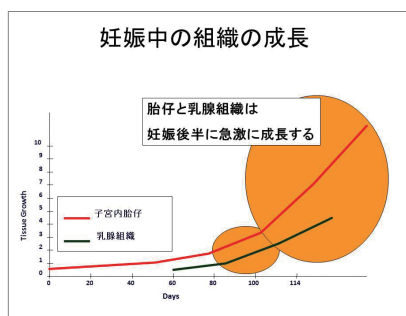
▲図2



▲図3



▲図4



▲図5

紹介・SPFのお店⑩

# ひこま豚食堂&酒場 Piggy Boo

北海道札幌市中央区南2条西3丁目

TEL.011-205-0223 FAX.011-205-0229 <http://www.hikomabuta.com/>

今回ご紹介するのは前号掲載の北海道森町の認定農場・(有)道南アグロ直営店「ひこま豚食堂・精肉店 Boo deli」の姉妹店です。札幌駅からすぐの中心街という絶好の場所に昨年11月オープンしたSPF豚専門レストランで、昼はランチメニュー、夜はアラカルトやコース料理でお酒も楽しめます。お肉の購入もできます。店内は手書きのディスプレイや間接照明ですてきな雰囲気です。

開店早々からランチタイムには行列ができるほどの大人気で順調にスタートしました。人気メニューはBoo deli同様「オーダーカットステーキ御膳」(好きな部位・グラム数・味付けをチョイス、肉代プラス500円でサラダ、ごはん、味噌汁付き)だそうです。

スタッフは社員、アルバイト含めて12名。店長の日当孝浩さんは、かつて(有)道南アグロの社長で販売会社・

(株)ひこま豚の社長でもある日浅順一さん(前号「SPFのひと」で紹介)と、SPF豚専門レストランで一緒に働いていたシェフ。SPFポークを知り尽くしている料理人です。

フロアマネージャーの山崎宣子<sup>のりこ</sup>さんは日浅社長の妹さん。道南アグロの創業者である先代社長で父の日浅文男さんを「尊敬しています。兄のように父を手伝いたいという思いがずっとありました」。下のお子さんはまだ小学生ですが、ご両親の助けを借りながら、夜遅くまで店を切り盛りしています。「お客さんの『おいしい』という声になによりうれしいです」。

「ひこま豚ブランドのランドマーク的な存在にしたい。波及効果を期待しています」と日浅社長。札幌に行かれた際はぜひ。

(注：この取材は震災前の6月に行われたものです)



◀ 日当孝浩店長(中央)、山崎宣子さん(左から2人目)とスタッフの皆さん

## 協会からのお知らせ

● **ちくさんフードフェア、今年も出展いたします!**

協会では今年も日本食肉流通センター主催「ちくさんフードフェア 2018」(10月6日(土)～7日(日)、川崎市・日本食肉流通センター敷地内)に出展致します。毎年大好評のしゃぶしゃぶの試食、アンケート、抽選会などを予定しております。別途案内もお送りしましたが、協会HP (<http://www.j-spf.com/>) もご参照の上、ぜひブースにお立ち寄りください。お待ちしております。

● **新賛助会員のご紹介**

この度新たに協会賛助会員として入会いただいた方(法人会員)です。

田谷ミートセンター(株)(千葉県東庄町)

(株)フロンティアインターナショナル(神奈川県川崎市)

● **子ども食堂へのご協力ありがとうございます**

千葉県内の認定農場各位にご協力いただいております「市川子ども食堂」への豚肉等食材提供は9月で20回を数え、800名近い方にSPFポークのおいしさを味わっていただくことができました。今後ともよろしく願いいたします。

## プロのシェフおすすめ、カンタン、おいしいSPFポークレシピ



### SPFヒレ肉と 野菜の甘辛いため ～和風タコス～

●レシピ提供・ひこま豚とまごころ料理「澤」  
オーナーシェフ 西澤一暢（北海道札幌市）

今回はもなかの皮を使った和風レシピをご紹介します。もなかの皮は業務用スーパーやネットショップなど手に入るようです。タコスとはちがった食感を楽しめる、かわいい一品に。ぜひお試しください。

#### ●材料●（作りやすい分量）

- ・SPFポークヒレ肉 200g
  - ・ズッキーニ 小1個
  - ・しいたけ 3枚
  - ・水煮たけのこ 小1個
  - ・長芋 100g
  - ・オリーブ油 適量
  - ・もなかの皮 12セット
- <合わせ調味料>
- ・しょうゆ 大さじ4
  - ・みりん 大さじ4
  - ・砂糖 大さじ1
  - ・ごま油 小さじ1
  - ・しょうがのしぼり汁 少々
  - ・鷹の爪 少々

・いりごま 少々

#### ●つくり方●

- ① 豚肉、長芋、ズッキーニ、しいたけ、たけのこを角切りにします。
- ② フライパンにオリーブ油を入れ、豚肉を最初に入れて火を通し、残りの具材を入れて炒めます。
- ③ 全体に火が通ったら、合わせ調味料を入れて味付けします。
- ④ もなかの皮に③を盛り込み、器に乗せます。

#### ★西澤シェフからのアドバイス

調味料は少し煮詰めて汁気を抑えます。もなかの皮に盛り付けがしやすくなります。

## 認定情報

### ●平成30年度認定農場

[9月認定](有効期間：2018年9月6日から2019年9月末日まで)

北海道・ササキSPFファーム、(有)山中畜産長沼農場、同千歳農場、(有)浅野農場、(有)高橋畜産、**岩手県**・(有)ケイアイファウム北上農場、(農)八幡平ファーム、**秋田県**・全農畜産サービス(株)秋田SPF豚センター、(株)ナカショク八竜繁殖農場、同大口繁殖農場、同能代離乳農場、(有)ポーランド第二農場、**山形県**・(株)ナカショク庄内繁殖農場、同庄内肥育農場、同鶴岡肥育農場、**茨城県**・常陽発酵農法牧場(株)、(有)米川養豚場、オヌマファーム、山本ファーム鹿嶋、**栃木県**・サンエス大渡農場、(有)K&Tコーポレーション、**群馬県**・(有)ほそや、**長野県**・長野県農協直販(株)SPF種豚センター、(有)岩垂原エスピーエフ農場、(有)クリーンポーク豊丘農場、(農)エスピーエフこがねや第一農場、**千葉県**・岡野茂樹養豚場、(有)東海ファーム倉橋本農場、同猿田農場、同第2肥育農場、

同第1肥育農場、(有)菅井物産飯岡SPF農場、(有)下山農場第1農場、同飯岡農場、**新潟県**・(株)ナカショク荒川繁殖農場、同中条離乳農場、同下田肥育農場、同長峰肥育農場、同上中山肥育農場、**岡山県**・岡山JA畜産(株)梶山農場、**鳥取県**・(株)西日本ジェイエイ畜産矢下繁殖農場、同上馬場肥育農場、同矢下肥育農場、**香川県**・(株)七星食品多和ファーム、**長崎県**・大西海ファーム中浦肥育農場、同七釜肥育農場、**大分県**・(有)九重ファーム、同第2農場、**宮崎県**・(株)ファームテックえびの種豚場、(株)ナンチクファーム守山北郷農場、**鹿児島県**・(株)シムコ鶴田事業所、同阿久根事業所、(株)ファームテック大口農場、(有)新留養豚、同第2農場、鹿児島いずみ畜産(株)江内農場、そお元気(株)ファーム野方農場、高山大規模実験農場生産農場、同肥育農場(以上60農場)  
※次回認定委員会は平成30年12月13日(木)の予定



ゆきのり  
**石本幸稔**さん  
(秋田県大館市)

## 生まれ育った愛媛からみちのく秋田へ スタッフを信頼して任せる農場長



伊藤忠飼料ピラミッドの認定農場、(株)ユキザワ雪沢農場は秋田(雪沢農場)、福島(玉川農場)、愛媛2農場(大川農場、丹原農場)と4農場ありますが、石本さんはこの4月に愛媛の丹原農場から雪沢農場へと異動したばかりです。

生まれも育ちも愛媛、東京はおろか四国を出るのも初めてという石本農場長。初の東日本ぐらしにまだまだ慣れないことばかり、だそうです。7月末までは「夏はいつ来るの?」と思うほど涼しい東北の気候に驚いたそうです。その後の全国的な猛暑でようやく「夏、あったんだ、って思いました(笑)」。

石本さんは兄、姉と3人兄弟の末っ子、幼い頃父親を事故で亡くします。お母さんが生活の糧として選んだのが養豚。地元農協の委託で肥育農場を運営しながら女手一つで3人のお子さんを育て上げました。物心ついたころにはすでに豚がおり、養豚場が遊び場だったとか。

高校卒業後、木材加工会社や水道工事会社に勤務後、お母さんの病を期に家の農場を手伝うことに。その後縁あって現ユキザワの前身養豚会社に勤務しました。大川農場のSPF化を皮切りに、農場一筋の生活に。幼いころから豚に慣れ親しんできたことから、飼育に関して不安は全くなかったそうです。

5年前に大川農場の農場長となった頃は、同規模の同じ愛媛の丹原農場の農場長が好敵手、追いつけ追い越せと切磋琢磨し、互いの農場成績も向上しました。

4年間の大川農場勤務を経て昨年丹原農場長として異動して半年後の10月、農場で火災発生、ほとんどの豚と豚舎を焼失するという大変な事態に。後処理を済ませたのち、58歳にして東北生活がスタートしました。3人のお子さんはすでに独立しており、看護師だった奥様が同行、「単身赴任は避けられてよかった」と笑顔。

雪沢農場の従業員は17名。「成績もいいし、従業員の勤続年数も長い。農場長はやることないですよ(笑)」といいながら、できる限り場内に入り現場とコミュニケーションをとっています。「従業員一人ひとりが個人的な目標を持つことが一番重要でしょう。そうすれば自然と農場全体がアップします」。

3人のお子さんは大分、愛媛、香川に在住。大川時代は趣味が孫の世話という、はやりの「イクジイ」(お若い)でしたが、「テレビ電話しても、なかなか電話に寄ってくれないんですよ」と苦笑い。「前は愛媛集合だったけど、今度は東京かな。家族みんなで集まるのが生きがいですね」。

休日には夫婦で車で秋田めぐりも。広い県内、まだまだ回りきれない見どころを楽しみにしているそうです。

穏やかな人柄がにじむ石本さん。新たなトップとして受け入れられたのも納得です。「目下の心配は、冬を越せるかですね(笑)」。四国とはまた違う趣のある東北の暮らしをぜひ堪能していただきたいと思いました。(編集部)

### 編集後記

大阪北部地震の震度6弱に続き、驚愕の北海道地震震度7。被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。台風21号の被害も復旧半ばに矢継ぎ早の災害。連続して起きる複合災害に、どう立ち向かうのか? 3・11の教訓は生かされたのか? 従業員の迅速な安否確認態勢、断水・停電・道路破損による搬送停滞時の防疫対策はどうあるべきか。改めて自農場の管理危機体制を検証し、準備不足を改善、防疫意識を高める機会にしましょう。のど元過ぎれば熱さ忘れる、では情けないことです。(世)



### 日本SPF豚協会認定農場産シール

このマークは  
**日本SPF豚協会**の  
登録商標です

### 日本SPF豚協会だより

第73号 2018年10月1日発行(季刊)  
発行 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-2  
TEL.03-5835-5375 FAX.03-5835-5376  
e-mail:j.spf.a@nifty.com  
http://www.j-spf.com/  
発行人 北島 克好  
編集人 藤田 世秀